

心臓血管放射線研究会学術研究助成
学会報告記

氏名 橋村 宏美

所属機関名(発表時) 国立循環器病研究センター 放射線部

発表学会名 ASCI 2011 (口演発表、展示発表)

学会開催年月日 2011 年 6月 17日～ 19日

演題名 Late gadolinium enhancement in hypertrophic cardiomyopathy: Comparison with 99m Tc-MIBI/tetrofosmin SPECT and 123I-BMIPP SPECT

優秀論文賞受賞 無 有()

学会報告記(800字程度・写真1枚)

締切:2011年6月24日

◇本文

2011年6月17日から19日に開催された5th Congress of Asian Society of Cardiovascular Imagingに参加させていただきました。

私自身は、ASCIへは初めての参加でした。この度の私の演題は、肥大型心筋症におけるMRI遅延造影、心筋血流SPECT、心筋脂肪酸代謝SPECTを比較するという内容でした。過去にも肥大型心筋症において複数のモダリティによる比較は報告されていますが、今回の私の研究は、MRI遅延造影における心筋の造影効果を、心筋内腔信号比を用いて定量評価したものです。

学会中は、各国の著名な先生方による教育講演が多数行われていました。特に、USAのChan先生の先天性心疾患に関するご講演は、形態診断、流速測定、術後の評価項目など多岐にわたるものでとても勉強になりました。ポスター発表では、韓国のKim先生のFallot四徴症術後症例のMRIを用いた研究で、その200例を超える症例数に、唯々驚かされました。また台湾のKo先生の研究で、LAD ligationしたミニブタの骨髄由来単核細胞移植後のMRI所見に関する発表が非常に斬新でした。その他、私が興味を持ったのは、日本の学会ではあまり見られないValveに関する教育講演やポスター発表でした。私は、弁についての知識があまりないのですが、弁疾患の原因や評価方法などを学ぶことができました。大動脈狭窄に対してTranscatheter aortic valve implantation (TAVI)が選択される頻度が増えているということで、今後のCTやMRIの役割や必要性が増すのではないかと思います。

学会初日のopening ceremonyは非常に立派で、日本のものとは趣向の異なる獅子舞を見ることができ、国際学会に来ていることを実感しました。Sessionの合間にはラウンジにおかれた飲茶を美味しく頂きました。

学会以外では、夜に女人街を散策しました。女人街は、最も香港らしい、活気ある楽しい場所で、楽しいひと時を過ごしました。

最後に、学会発表にあたり、多くのご指導を頂いた国立循環器病研究センター放射線部および臨床病理科の先生方と、学会参加費を助成いただいた日本心臓血管放射線研究会の方々に感謝申し上げます。